

研究者の横顔

フリガナ	ヤマモト ユウスケ		
お名前	山本 雄介	助成金額	100 万円
ご所属	国立がん研究センター 研究所 病態情報学ユニット		
研究テーマ	細胞外小胞分泌を標的とした制がん戦略の開発		

1：研究者になろうとしたきっかけ

子供のころより虫や魚が大好きで大学では生物学を専攻しました。大学の授業で興味を持った分子生物学を勉強しているうちに、大学院時に腫瘍生物学に出会い、今に至ります。

2：助成研究の内容紹介

セリン合成経路阻害薬により、がん特異的なエクソソーム分泌を抑え、転移などの悪性を抑制する手法を開発する。また、スクリーニングで同定された複数のマイクロRNAの導入によるがん特異的エクソソーム分泌の制御が新たな治療法となる可能性を探る。

3：2の将来に繋がる結果予想・目標

がん細胞が分泌するエクソソームは、細胞間コミュニケーションを介してがんの悪性化に関わることがあきらかになっています。本課題では、がん特異的なエクソソーム分泌を制御することで、がん細胞を間接的に攻撃する方法を開発することに繋がると考えています。

4：全国のRFL関係者に一言メッセージ

この度は、本助成に採択していただき心より感謝申し上げます。新たな治療標的の探索とその応用による治療の開発研究を続けていきたいと思っております。